



Club Weekly Bulletin

■創 立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会 長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 松尾寺副住職 松岡 秀晋 様

会長報告

- 先週の土曜日、2011-2012年度 I M（第4組）がいかるがホールで行われました。（ホスト：王寺ロータリークラブ）またそれに先立ち、県下 RC 会長会議がありましたので、その報告をさせていただきます。
- ・河本ガバナーエレクトから、「基本的にはガバナー公式訪問は複数クラブでして欲しい」との依頼がありました。この日河本ガバナーエレクトは山口国体へ行っておられ、次年度幹事予定者の方が代わりにお話されました。現在のところ、奈良県下では公式訪問合同例会は、奈良西と平城京、大和郡山と生駒がされる予定です。
- ・当クラブは今年度鷗尾の会ゴルフ大会のホストに当たっておりますので、その日程（H24年3月）を発表させていただきました。

次に理事会報告をさせていただきます。

- 潮田会員の御母様がお逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。
- 喜寿・傘寿のお祝いについて、皆さんお誕生月がばらばらですが、12月に纏めて行うことに決定いたしました。
- 畑中さんの代わりの方の入会手続きについては続行中です。
- 台風12号による奈良県南部の被害について、一人3,000円以上のお見舞金を集めさせていただきます。本日皆さんの状差しに封筒を入れております。同県のことですので、何卒宜しくお願い致します。
- 奉仕プロジェクトの大宮地区防災訓練については担当委員会よりお話頂きます。
- クールビズは10月末までとなっておりますので、宜しくお願い致します。

2011~12年度 当クラブテーマ
 『クラブの未来のために
 リーダーを育成しよう』

RI.D2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 今西 信裕



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第14回 10月11日
 通算1572回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
 「我らの生業」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 新入会員卓話
 森山 斗福 会員
 弓場 裕史 会員
 辻本 和弘 会員
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第13回 10月4日
 通算1571回

- 会員数 69名
- 出席免除者数 23名
- 出席者数 50名
- 出席率 84.75%

第11回 9月20日
 通算1569回の修正

- 会員数 69名
- 出席免除者数 23名
- 出席者数 60名
 (内補填者数 6+1名)
- 出席率 98.36%

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）パートⅡ修了証授与

楠原 忠夫 会員

谷川千代則 会員



委員会報告

新世代委員会・武中委員長

今週土曜日に大宮地区防災訓練を開催します。現在30名の出席者ですが、会場が大宮小学校ということでまだまだ余裕がありますので、宜しくお願いします。当日の服装は普段着でお願いします。また、駐車場はございませんので、皆さん各自で駐車場にお止め下さい。ご参加宜しくお願い致します。

米山奨学委員会・土谷委員長

10月は米山月間です。入口の所にド派手なバナーを購入いたしまして、スタート致しました。本年度、ニコニコやソングの歌詞カードなど新しい企画がどんどん出ておりますが、それに対抗したという訳ではないのですが、米山も長らく寄付だけが念頭にあるような気がしまして、また、新入会員さんも増えましたので、一つ初心に戻って米山理解の月間にしたいと思っております。お手元にA43枚の「米山奨学事業考」というペーパーを入れさせて頂きました。どうか事業をご理解の上、寄付をお願い致します。なお、本ペーパーについては、植倉地区委員に見てもらっており、文責土谷と書いてございますが、監修植倉氏と書き忘れまして、大変失礼致しました。なお、資料に税金の還付額の試算が書いてありますが、前年度普通寄付の4,000円につきましても還付対象になりましたので、その加算後はこちらに書かれております金額から1,000円程度多く加算されるかと思えます。よろしくお願い致します。

親睦活動委員会・野崎委員長

- 来週13日奈良県下RC親睦ゴルフ大会がオークモントゴルフクラブで開催されますので、参加される方は宜しくお願い致します。案内を状差しに入れさせて頂いております。
- 10月18日に弓場さんと辻本さんの歓迎のミニ親睦会を開催します。例会終了後場所を移動して、芝にて19:00～会費3,000円にて予定しております。詳しくは来週例会時に出欠表を回覧しますので、宜しくお願いします。なお、この日は結婚記念日・誕生日のお祝いも行われお酒が出ますので、バスを用意いたします。ご利用の方は出欠表にその旨ご記入下さい。

「職業奉仕とロータリー」

(2003～2005年 R I 第2650地区職業奉仕委員長)

松尾寺 副住職 松岡 秀晋 様 (大和郡山RC)

今日の内容は職業奉仕についてですが、私は自クラブの職業奉仕委員長、そして地区の職業奉仕委員会で委員2年、副委員長2年、委員長2年務めさせて頂きました。職業奉仕とは、自分の職業を通じて社会のお役に立つということです。職業奉仕はロータリーの哲学、奉仕の哲学に直結するものです。職業奉仕はその意味するところを十分に理解すること、理念の涵養が先ず第一に重要です。職業奉仕とは、「自己の職業を通じて、その道徳的な倫理観を高め、社会に奉仕すること」です。そしてこれが全てのロータリーの奉仕活動の基礎となるものです。職業奉仕の定義もいろいろありますが、おそらく米山梅吉先生の「常識関門」という本の中の一説に由来すると思われるこの定義が最も一般的です。私達の社会は、いろんな職業の人々によって支えられています。それは、いろんな職業の人々が、この社会を構成するために分業し分担しているということであり、自分が従事する職業も、社会を構成する大切な歯車の一つとして大変重要な役割を担っているということです。個々のロータリアンにとっては、自分の職業を通じてどのように社会に貢献していくのかが問われ、どれだけ多くの人に喜んで満足頂ける仕事をできるかが大変重要になります。職業奉仕の理念は、定款4条の綱領の第2に、また5条の五大奉仕部門の一つとして示されています。「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること」「あらゆる有用な業務は全てその価値を認めること」「その業務を品位あらしめること」という理想を掲げていますが、それが正に私達ロータリーの掲げる職業奉仕です。それがどうということなのかを私達ロータリアンは、絶えず自分自身に問いかけながら業務に励んでもらいたいということであり、職業の倫理観を少しずつ高めていくということに他ならないのです。

ロータリーはまず最初にサービスの理念というものがあります。人は皆一人で生きていくことはできません。支え合って共に生きる存在ですから、他の人のために尽くすことが本来の人間としての社会的責務であり、その責務を自覚することが奉仕の精神です。人は皆他人のために誠実に尽くすことによって初めて自分の幸せを手にするのです。これはロータリーだけの考え方ではなく人間存在の根本に関する真理であり、ロータリーはその真理を指摘し、その実践を強調してただけなのです。そして、この社会的責務を自覚するか否かというのは、そこで一人の人間としての生き方が問われているのであり、正に倫理の問題です。だからこそ、各人の職業の倫理感を高めることが最も重要になるのです。そして、このような社会的責務を自覚し、実践することが「サービス(奉仕)」なのです。

ロータリアンにとって最も重要なことは、職業奉仕の行き着く先は職業倫理であるということをしつかり理解することです。ロータリーの本質は職業奉仕にあり、それは職業人の倫理運動です。最も注意しなければいけないのは職業倫理であり、その出発点がコンプライアンス(法令遵守)であり、CSR(企業の社会的責任)です。企業は社会のお役に立ってこそ、存在の価値があります。にもかかわらず、そこそこの大企業の社長さん達が、テレビカメラの前で深々と頭を下げてお詫びをするなどということが、日常茶飯事のように行われる社会は明らかに異常です。私達がその異常さに慣れ過ぎて鈍感になっているのであれば、余りにも愚かで悲しむべきことです。倫理を忘れた職業人というのは誠に始末が悪いのです。それは自分の企業を滅ぼすだけでなく、国全体を混乱に陥れ、更には世界的な信用を失うことにより、やがては国家を滅ぼし民族をも滅ぼしてしまう危険をも孕んでいるからです。古くはミートホープや船場吉兆の不祥事、事故米の売買、中国のメタミドホスやメラミンの混入、そして支払い能力が不十分なサブプライムローンを債券として証券化して世界中にばらまくというアメリカの証券会社の失態は、正に悲しい実例です。

このような様々な事態を前にすると、私達は今一度過去の歴史に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。先輩ロータリアンの歩みに、謙虚に敬意を払い、諸先輩の知恵から、今一度学び直すべきであると思います。

日本では昔より社是、社訓を掲げ、従業員の訓言としてきました。近江商人の格言「三方よし」は三つのスローガン「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を掲げたのです。次に、高島屋のルー

ツを考えてみます。高島屋は1831年、今から約180年前に木綿・呉服商となり、四カ条の店規を設けました。「1. 確実なる品を廉価にて販売し、自他の利益を図るべし。」自と他の利益を図る、正に職業奉仕であります。「2. 正札掛け値なし。」「3. 商品の良否は明らかにこれを顧客に告げ、一点の虚偽あるべからず。」これは真実を語れということ。今でいう誇大広告禁止の原則であります。「4. 顧客の接遇をいやしくも貧富貴賤によって等差をつけるべからず。」以上の4カ条の店規は、現在でも立派に通用する社訓となります。この時期、他の老舗呉服商も競って店規を設けました。悪徳商人の横行する中で商人倫理、商業道德の確立を志したのです。社会的な貢献を伴うことにより初めて利潤を獲得し蓄積できるのだという理想と実行がみられました。

また、職業奉仕は、職業に道德を取り入れる一つの方法であると言われております。日本では、職業を通じて世のため人のためにお役に立ちたいという思想、考え方は古くから存在しています。神道、仏教、儒教などの哲学の影響で、自分の職業を天職と考え、職業の貴賤を問わず、誇りを持って相手の立場に立って商いをする商人道が古く江戸時代から確立されています。これについてよく引用されるのは、二宮尊徳、大丸の創始者下村彦右衛門、実業家渋澤栄一の話です。二宮尊徳は徳川幕府後期の農民学者で、その生い立ち、生涯の仕事が「奉仕の理想」の精神「四つのテスト」の精神に合致しています。また、250年前に大丸を創立した下村彦右衛門は、「先義後利（義を先にし利を後にするのは栄ゆ）」と論じ、商売道においてまず表すべきは富の集積に非ず、利権の獲得に非ず、取引の誠実とお客へのサービスにあることを指摘し、繁栄はこれに伴って後からついてくるものと訓されたのです。また、渋澤栄一は我が国に銀行制度を導入された方ですが、「経済と道德の合一論」を説かれ「右手にそろばん、左手に論語」と表現されました。道德を備えた上での利潤でなければ人の信頼は得られない、真の繁栄もありえないと説かれたのです。

新しく出てきた重大問題の1つとして、環境問題があります。職業奉仕の中心にある職業倫理の内容として、環境問題が大きなウェイトを占めるようになる、つまり、環境に十分な配慮をしない企業は企業としての社会的責任を果たしたとは言えず、CSRの内容として、企業の環境への対応の仕方が厳しく問われることになるだろうということです。既にSRI（社会的責任投資）やCDP（Carbon Disclosure Project）といった言葉をご存知の方も多と思います。SRIというのは、投資の際に環境や人権などを考慮する社会的責任投資のことです。また、CDPというのは、企業に温室効果ガスの排出量や削減目標を尋ねるもので、いわゆる機関投資家などの「マネー」がそれを欲しているからだと言われておりますが、CDPを支援するのは、全世界385の投資家で、その資金規模は57兆ドル（約5千兆円強）にもなると言われています。今や、環境や社会的責任に配慮したビジネスに資金を回すSRIの出番がきているということです。

さて、職業奉仕というのは、それぞれの職業の中で奉仕の理想を実践することです。そして奉仕の理想とは、「他人のことを思いやり、他人のために役立とうとすることである。」と言われております。それでは、単なる仕事はどこから職業奉仕になるのでしょうか。その出発点は、その行動に愛が込められているかどうか、思いやりの心が入っているかどうかであり、どれだけ深く相手の立場に立って、どれだけ相手に満足して頂ける仕事をする事が出来るかということが重要になります。その前提としての行動に愛を込めることについての具体的事例を一つご紹介させていただきます。

昭和初期の2. 26事件で反乱軍に射殺された教育総監の渡辺大将のお嬢様で、岡山のノートルダム清心女子大学の学長、あるいは日本カトリック学校協会の会長などをお務めになった渡辺和子先生のある地区のライラセミナーでのお話です。2. 26事件で将校たちが踏み込んで来たときに、お父様はとっさに当時まだ小学生だった渡辺先生を机の下に隠されたそうです。その目の前で軽機関銃43発をぶちこまれ銃剣で滅多突きにされてお亡くなりになったそうでございます。お葬式には、顔中に包帯を巻いて、二目と見られないような形でお見送りになられたそうですが、それが修道女になられた原因かと思えば、必ずしもそうではないということです。29歳で修道女になられて、そして修行の為にアメリカに渡られました。そしてアメリカで暑い夏に修道着を着て150名ほど入る食堂でお皿とナイフとフォークを配っておられました。すると先輩のシスターが渡辺先生に「シスター、あなたは

今何を考えていますか。」とお尋ねになり、渡辺先生は「何も考えていません。」とお答えになりました。すると「何も考えないでお皿を配っているというのであれば、それは時間を無駄にしているということになりますよ。」と言われたそうです。そのシスターは「お皿とナイフとフォークを置いていくのであれば、どうして「その席にお座りになる方がお幸せになって下さいます様に」と心の中で祈りながら置いて行かないのですか。ただ単に漫然とお皿を置いていくのであれば、それは仕事に愛がこもっていないということですよ。時間を無駄にしていることですよ。」と諭されたようです。渡辺先生は、「それまでいかに効率的に仕事をするかということは教えられてきたけれども、仕事に愛を込める、時間に愛を込めるということは教えられたことはなかった。それは私にとって大きな救いとなりました。それ以降、私には、雑用というものはなくなりました。雑用というのは、ある人がある仕事を雑にしたときに雑用になるのであって、全ての仕事に愛を込めたならば、思いを込めたならば、この世の中から雑用というものはなくなるだろう。」と言われたのです。仕事に愛を込める、他人様の幸せを祈る、それは外からは何も見えないのです。ロータリーは見えないところを大事にしようと言っているのです。

このように職業奉仕は、目に見えない優れて精神的な問題なので、最終的には自分自身の心を磨くことに尽きます。そして心を磨けば、自然にその磨かれた心が自分の企業管理にも必ず出てくるものです。例会は、その奉仕の心を作り、磨くところです。だからこそ、例会出席の重要性が叫ばれるのです。そして例会から一歩外に出ると、そこは全て奉仕の実践の場であるというのが基本的な考え方です。ロータリーで心を磨き、ロータリー精神を身につけたロータリアンは、例会を出るとご自分の職場ないし業界へと帰り、自分の会社だけでなく、業界全体に、さらには地域社会に、ロータリー精神をアピールしていく大使となるというのが基本的な奉仕の形です。金銭や物で奉仕することも勿論結構ですが、それは本来の問題ではありません。ロータリアンが業界や地域社会にロータリー精神を押し広げていくことによって、社会を少しずつ良い方向へ改良して行こう、延いては人類の繁栄と幸福と世界の平和に貢献していこうというのが、私達ロータリーの掲げる奉仕の哲学であると思います。

最後に、「思いやりの心」と対となると思われる「感謝の心」について少し述べさせていただきます。職業奉仕の根本にある「奉仕の理想」が「思いやりの心」であるとする、その「思いやりの心」を内にあってしっかりと支えているのが「感謝の心」です。今こうやって自分が生活ができる、何かの仕事ができるというのは、決して自分だけの力ではないんだ。いろんな人にいろんな形でいろんなところで支えて頂いているお蔭だということが分かれば、自分もまた誰かのお役に立たなければ申し訳ないという心が自然に湧いてくるものです。私達のこの現実の世界というのは、見る人の心によって随分と違って見えるのではないのでしょうか。自分が本当はとてものありがたい存在であるのに、それに気がつかないで不平不満ばかりを言っているのでは、本当に勿体ないと思います。「感謝の心」が十分に理解できていないと、「思いやりの心」もまた十分なものとはなり難いのではないのでしょうか。日々の生活やロータリーライフを充実したものとするためにも、ロータリーや個々のロータリアンと接していく中で、常に「感謝の心」を持って謙虚に誠実に自分自身を磨かせて頂くことが、何よりも重要なことであろうと思います。ロータリーの本義はやはり職業奉仕と人間形成、人づくりにあるのだと思います。そしてロータリーの例会は、そこで自分自身を磨かせて頂く、紳士淑女の修練道場であるということになるのだと思います。私達は貴重なご縁を頂いてロータリアンとなり、職業奉仕という考え方にも出会いました。先の見えにくい大変不透明な時代ですが、このような混迷の時代の今こそ、社会はロータリーの精神を必要とし、職業奉仕の理念と実践が求められているのではないのでしょうか。今、私達ロータリアンに最も求められているのはこのような職業奉仕理念の涵養と実践であり、かつクラブ内外への啓蒙、普及であると思います。職業奉仕月間に臨んで、皆様方のますますのご精進とご活躍を心より祈念申し上げます。

※☒ 会報への掲載にあたっては、紙面の関係もあり要約して文章を作成しておりますが、本卓話については、会員から要望がありましたので、卓話の内容をそのまま掲載した『会報別冊』を作成しております。



本日計 58,000円 累計 1,040,000円

松岡秀晋 様 (大和郡山RC) 職業奉仕についての卓話をさせていただきます。宜しく願い申し上げます。

大橋幸之助様 (奈良RC) いつもいつも奈良大宮ロータリークラブの皆様には大変お世話になっております。

井上正行 君 潮田会員の御母堂様の御冥福をお祈りします。会員の皆様ここ2~3日朝、晩と急に冷え込んできました。風邪を引かないよう気を付けて下さい。

増井義久 君 8日は大宮地区防災訓練です。ご参加宜敷お願いします。

武藤廣茂 君 松岡様 本日は職業奉仕の卓話、お世話になります。何卒よろしく願い致します。

箸尾文雄 君 松岡秀晋様 ようこそ

矢追家麻呂君 奈良大宮RC第1回親睦ゴルフコンペが9月28日に開催されました。今回は前年度矢追杯の取りきり戦(マンスリー)を兼ねており、武藤さんが見事優勝され栄冠を手に入れました。おめでとうございます。参加されました皆様方お疲れ様でした。

土谷宗一 君 10月は米山月間です。特別寄付をよろしくお願い致します

植倉一正 君 10月2日山歩き会で比良山系の霊仙山から蓬莱山を経て、下山もロープウェイを使用せず、びわ湖バレイ駐車場まで歩いてきました。山歩き会の皆さん、お疲れさんでした。

中村信清 君 涼くなりました。皆様お体ご自愛下さい

西口栄一 君 先日は 何名かの方に 何かと いただきましたので ニコニコ協力

柴田直三 君 ニコニコに協力です

宮西正伸 君 ニコニコ協力

楠木重樹 君 ニコニコ協力

今崎和民 君 ニコニコ協力

野上利樹 君 ニコニコ協力

森山斗福 君 ニコニコ協力

谷川千代則君 ニコニコ協力

植村将史 君 ニコニコ協力

本日のお客様

大橋 幸之助 様 (奈良RC)

次週の例会

10月18日(火)

卓話 米山奨学生 張 敏 さん